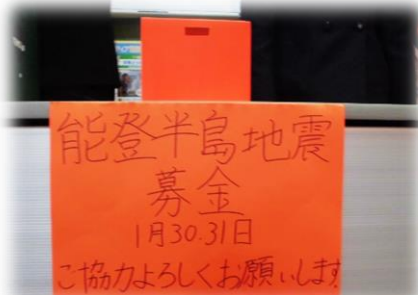




能登半島地震災害義援金募金 1/30, 31

令和6年能登半島地震で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

3年生から生徒会が引き継がれ、2年生が中心になって生徒会の活動をしています。元日に発生した能登半島地震の被災者のために、何かできることはないかと考えた生徒会総務の発案で、福祉委員会を中心に能登半島地震災害による義援金の募金活動が行われました。



多くの皆さんが生徒会からの提案に賛同し、たくさんの募金が集まりました。二日間で集まった募金額は、34,035円 でした。集まった義援金は、日本赤十字社石川県支部を通じて、石川県義援金配分委員会へ全額が送られます。

生徒会役員の声

・募金活動へのご協力、ありがとうございます。
2日間という短い期間でしたが、とてもたくさんの方が積極的に取り組んでくださいました。五中生の温かさを感じられました。これからも活動へのご協力、よろしくお願いいたします。(生徒会長)

・二日間募金へのご協力ありがとうございます。募金活動へのご協力本当にありがとうございます。たくさんの方が募金に協力してくださってありがとうございます。被災した方々にも思いが伝わるといいですね。これから活動へのご協力よろしくお願いいたします。(福祉委員長)

・2日間募金活動へのご協力ありがとうございました。学校全体で福祉活動を行ったこと、募金をしてくださった方が多いこと、ありがとうございました。ありがとうございました。(福祉委員会 副委員長)

地震から一ヶ月が経ちましたが、この地震で、当たり前の日常を一瞬のうちに奪ってしまった地震の怖さ・非情さを思い知らされました。多くの方が亡くなり、住む場所を奪われ、日常生活を営むことが困難な日々は現在も続いています。

学校が避難所に使われているため、多くの中学生が親元を離れ、集団での避難をしています。ある中学3年生は「受験勉強をするために避難することを決めました。残りの日は少ししかないので、一日一日を大事に過ごしたいと思います」と話しています。親元を離れ、集団避難を決意した中学生、その家族の想いを押し量ることはできませんが、復興を祈って、故郷で家族と共に生活できることを信じて、一歩を歩み出したのでしょうか。

しかし、中には「行かない」選択をした生徒もいます。「勉強道具は、がれきの下に埋まっています、今何も持っていないので勉強できません。避難所の中で小さい子が遊んでいるのを見ると、心が癒されます」と話す中学生や「家族や地元が大変ななか、自分だけ集団避難しているのか、学校に行っているのか」という罪悪感をもつ子もいるようです。

今回、生徒会役員「+1」の呼びかけに応え、多くのみなさんが「+1」で募金をしてくださいました。3年生から受け継いだ「+1」の精神でまた、一歩前進しましたね。

当たり前の日常を送れている私たち、感謝の気持ちをもちながら、日々を精一杯過ごしていきたいでしょう。

日常の学校生活

校内書き初め展

1年

1年家庭科調理実習 鮭のムニエル

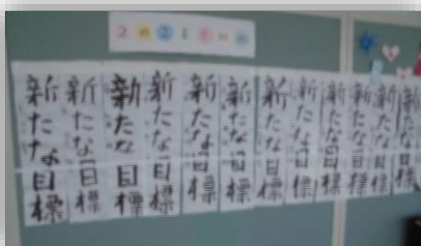
総合 上田学 発表



2年

2年理科 熱量と温度変化の実験

修学旅行班別行動決め



3年

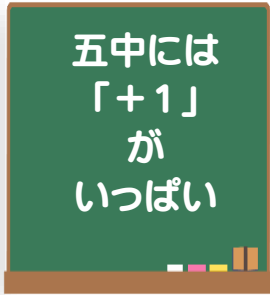
3年美術 石彫作品

体育 卓球



生徒集会 放送室からオンライン

1月の黒板 art



好スタートを切った! ☆生徒会!

1月から2回の生徒会委員会がありました。1月～2月にかけて、各委員会では以下のような企画で活動が行われています。

代議員会「委員会サポート week」

図書委員会「朝読書強化週間」

つばさ新聞委員会「3年生思い出新聞」

通学安全委員会「自転車点検」

福祉委員会「書き損じハガキ集め」

体育委員会「クラスマッチ ※3月」

放送委員会「リクエスト曲～2023年ベストソング～」

保健委員会「寒さに負けるな! 風邪予防 week」

その他の委員会も日常の当番活動などに取り組んでいます。

生徒会あいさつ運動の様子



3月1日には、生徒総会が行われ、新体制での各委員会の活動が報告されます。また、3月13日には、生徒会役員を中心に計画をしている3年生を送る会が、神科小学校体育館をお借りして行われます。初めての大きな行事、しかも小学校の体育館をお借りして、全校が移動しての開催となります。2年生の生徒会役員を中心に、1、2年生が知恵を出し合い「+1」の精神で、きっとステキな会にしてくれることでしょう。期待しています!

参観日週間ありがとうございました。

本年度最後の参観日週間、各学年の参観日には大勢の皆様に来校いただき、授業を参観していただきました。また、週間中は朝から熱心に授業を参観していただいた方もいらっしゃいました。ありがとうございました。感想をお寄せいただきましたので紹介します。



◇理科の授業がとても楽しそうでした。すれ違う生徒さんたちが、たくさんあいさつをしてくれて、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

◇5時間目の理科の授業を参観させていただきました。プラスチックの性質を調べる内容で班に分かれて実験をしていました。決めただけではないのに、なんとなく実験をリードしてくれる子、結果を書いてくれる子、火をつけてくれる子、皆で協力して実験してよい雰囲気でも学習できていました。久しぶりに実験を見て、楽しかったです。ありがとうございました。

◇理科の授業を参観させていただきました。実験であっても騒然とすることもなく、先生の指示をよくきいて取り組んでいて、いいなと思いました。男子と女子ともよく協力してできているのもいいなと感じました。先生のお話がわかりやすく、生徒さんたちが集中して聴いていました。ありがたいと思いました。我が子は落ちつきのない子ですが、授業にはとても楽しく取り組ませていただいております。うれしかったです。 中略

この校舎に入るのも今日が最後と思うと少し淋しいですが、良い3年間を過ごさせていただいて、本当に感謝しています。ありがとうございました。

交通安全・非違事案防止研修

飲酒運転の撲滅と交通法規について研修会を行いました。

12月27日上田警察署交通課 今井俊文様に来ていただき、職員向けに非違行為防止研修会を行いました。長野県及び上田警察署管内発生 of 交通事故の状況、事故後の措置について、飲酒運転による各処罰規定などについてのお話を聞き、DVDを視聴しました。

職員の感想

- 「車は走る凶器」だということあるたびに自戒していますが、飲酒すれば、またさらに判断力が落ち、事故、それも人の生命にかかわるような大きな事故につながる可能性があることを今日、改めて自覚しました。お酒を飲んだあとは、絶対に運転しないことを自分に、そして周りに宣言します。
- 飲酒運転に限らず、道路交通法を遵守することが大切だと感じました。救護義務、報告義務をしっかりと頭に入れて事故を起こしてしまっても冷静に行動することを心がけたいと思います。また、事故を起こすことがないように最新の注意を払って運転するようにしたいと思います。
- DVDを視聴し、アルコールの危険性を再確認させられました。また、飲酒運転に対する罰則等、詳細について知ることができました。社会全体の意識を高め、飲酒運転の根絶が必要と感じます。「しない!」「させない!」「許さない!」のスタンスを大切に、自分自身ができることや、周りに対してできることを考えて行動に移していきたいと思っています。
- 令和5年11月末現在で、2330人の死亡事故が起こっていることに驚きました。アルコールを飲酒後については、自分でもしっかり考えて行動できるように、家族とも話していきたいと思っています。悲しい思いをしない、させない。自分自身もしっかりとし、まわりにも声をかけていけるようにしたいと思います。
- 飲酒運転による事故の報道を目にするたびに、自分の家族を思い苦しくなります。それでもお酒を飲むと気が大きくなり「大丈夫」を安易に考えてしまう心理も理解できてしまいます。自分の理性を過信せず、外での飲むときには特に運転の必要がないように迎えを頼んでおく、車はおいていくなど、事前に準備をしようと思えました。飲んだ後の睡眠がアルコールの分解を遅らせることも驚きました。自分で思っていたよりもアルコールは残るものと考え、余裕を持って「飲み止め」ようと思います。

